

ドキ

やだ すこい  
カタログの写真より  
ずっとスケベ...

お尻の穴まで  
丸見え...♥

彼のチンポのニオイが  
しみ込んだこの部屋

私の中に眠っていた  
淫乱な血を熱く  
させていく

でも最近決算の  
繁忙期でセックスは  
お預け状態

溜まり続ける欲求の  
はけ口を求めて  
こんな事を始めてしまった

とうとう こんな  
着て会社に行くのね  
私

バレたら  
どうしよう...

こんなの履いてるって  
知ったら さすかのナス  
くんもひいちゃうかな

それとも我慢できなくて  
おっきなチンポ...  
入れてくれるかな♥

ビクッ♡  
ビクッ

と...

と...

むわ...

むわ...

むわ...

ドキ

ドキ

ドキ

は

あ

は

は



互いの変態性癖が  
どんどん覚醒して  
もう止まらない

あの夜からメスブタ  
セックスを重ねて  
たった一か月でこんな  
変態になってしまった



だからこそ会社が  
終わってから



おしるナスくんは  
以前よりもさらに真摯に  
仕事に取り組んでいる  
そういう実直な  
性格にもますます  
惹かれていく



でも会社では二人とも  
いつも通りに過ごしている



八潮さん…っ 八潮さんの  
エロマンコのニオイ…っ!!  
汗ばんだケツ穴の  
ニオイ…最高ですっ!!

あああ まだ…  
お風呂に入ってから…  
ニオイだめえ…っ♥  
ずっとマンコ蒸れて  
たんだからあつ!!

ツツツ!!  
ツツツ!!  
ツツツ!!

ツツツ!!  
ツツツ!!  
ツツツ!!

僕も会社でカウパー  
漏れまくってました

ガッガッ

ああ…チンポお…  
小さいチンポお…♡

もう限界です その  
エロマンコに入れ  
させてもらえますか

入れて…  
メスマンコに  
チンポ交尾してえ!!

八潮さん すっかり  
卑猥な言葉 好きに  
なってますね

あああん♡ 貴方が  
言わせてるんでしょ…っ

イヤがつても…ああ♡  
特訓だつて…いつも…  
いつも…っ!

言わないと…キントマ精液  
マンコ穴にぶちまけてイカせて  
くれないからあ…っ!

すみません イヤがる  
フリする八潮さんが  
可愛いから つい

ち…違…ああ♡  
フリなんかじゃ…  
あひっ! いっ!  
もっと奥まで  
チンポおおっ♡

イヤがつてみても  
いつの間にか…

グッグッ!

グッグッ!!

休日でも



鏡につながってる  
ところ丸見えですよ

あああ  
言わないでえ…

とんでもない  
水着を着せられて



似合ってますよ  
これで泳ぎに  
いきませんか

らめ…だめえ…  
あああ…

ついに  
こんなコマまで



今の課長  
会社の人に見せて  
自慢したいですよ

やだああ 貴方だけよ  
こんな姿見せるの♡  
ナス君に見て  
ほしいのお…♡



ホントは好き  
なんですよね？  
ど変態セックス…  
大好きですよね？



ちが…あああつ  
あああああ…♡  
わたヒ…は…キミが  
好きだから

あああ こんな  
コト…変態セックス  
なんてえ…♡

結局 私はイヤだと  
言い切れず  
おしる…彼に交え  
られていくことが

心を丸裸にされて  
しまうことが

ちと…  
ちと…



好きよっ とっくの昔から…大好きいっ♡

変態だものっ 私…変態スケベ女だからっ♡

見てっ 見てええっ♡

出社前にクソ穴オナニーしてるのっ!

全部丸出して感じるのっ♡

見てっ

見てっ

ガッガッ

ガッ♡ガッ♡ガッ♡ガッ♡

ガッガッ



イクッ! イクッ!

ああああッ!

ぶっ♡ぶっ♡ぶっ♡

どっ♡どっ♡

どっ♡どっ♡



どっ♡どっ♡どっ♡どっ♡



ああ…怖い このまま出社したら

本当に…私 どうなってしまっの…



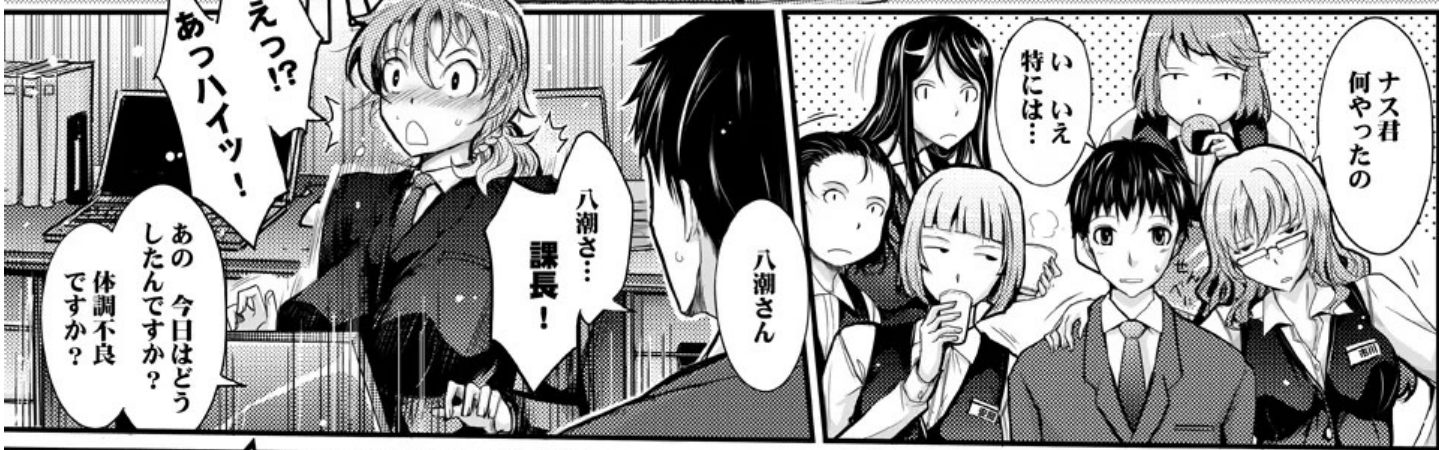
どっ♡

どっ♡

どっ♡



こうなり  
ました。



あつハイッ!!  
えっ?!

あの 今日はどう  
したんですか?  
体調不良  
ですか?

八潮さ...  
課長!

八潮さん

いいえ  
特には...

ナス君  
何やったの



ううん 大丈夫  
ごめんなさい

今朝の変態オナニーの  
せいだなって言えないけど  
そもそも原因の半分は  
ナス君なんだし  
『どうしたんですか?』って  
いつかはどうかしら

オイコラ  
メインタマ!



目え開けたまま  
寝てんじゃねーぞ!!

どちら様...?

俺だよ!  
背戸口だよ!

顔の力が無い  
から分かん  
なかったわ  
どーしたの?

お前らにボコ  
られて凹ん  
だよ!

あとカリって  
言うな!  
エラって言え!!

It's  
セハラよ!!







ねえ…  
ナスくん

はい

今日  
話してたこと…

私たちは直接の  
上司・部下だから  
彼らのようなケース  
じゃないけど

もし私がナスくんを  
怒ったら…一緒に仕事  
やりづらい？

いえ 全然  
実際 今まで何度も  
ミスして叱られて  
きましたし

野球部の頃も叱られて  
ばかりでしたけど  
監督や先輩は  
尊敬してましたよ

でも…こうして付き  
合ってからじゃ感じ方も  
違うんじゃないかな…って

毎日 貴方のチンポに  
おマンコ濡らしてる女に  
叱られて…嫌じゃない？

ズン

ズン  
ズン

ズン

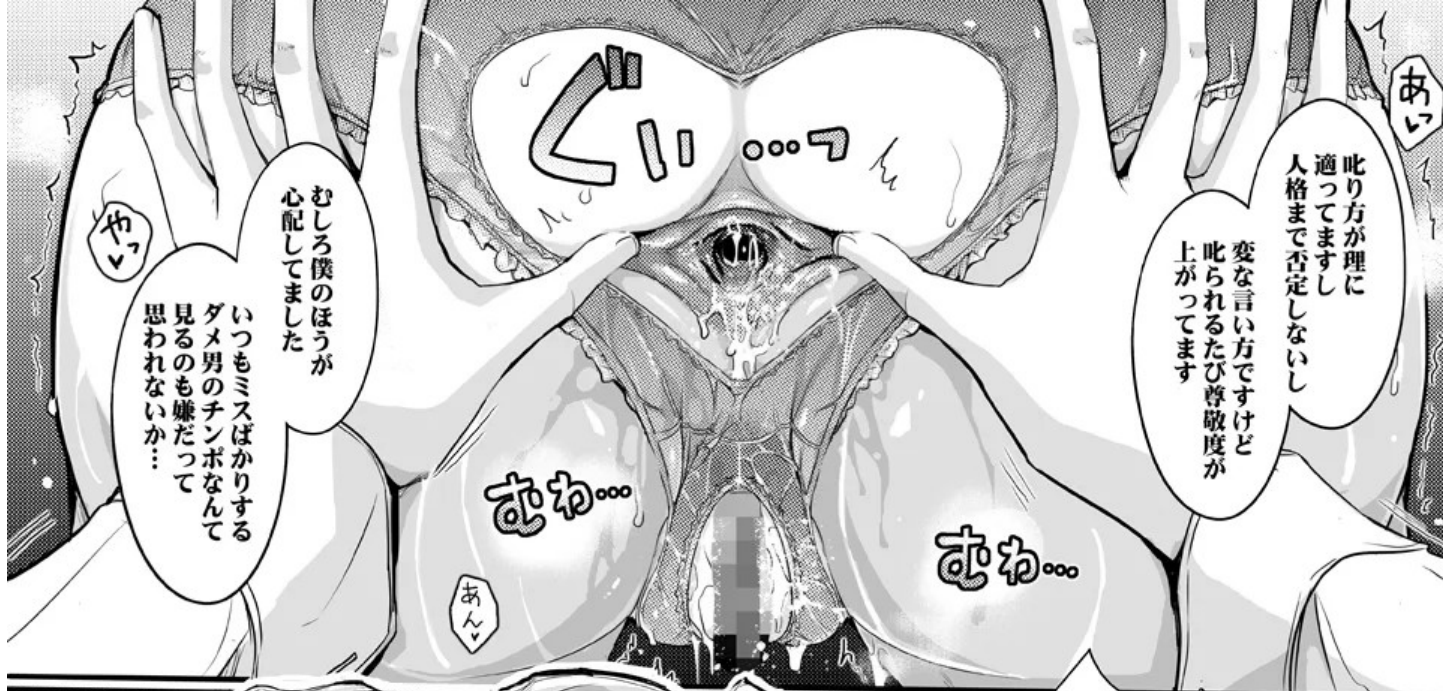
ズン

ズン  
ズン

ズン  
ズン

ズン  
ズン

ズン  
ズン



あー  
此り方が理に  
適ってますし  
人格まで否定しないし

変な言い方ですけど  
叱られるたび尊敬度が  
上がってます

むしろ僕のほうが  
心配してました

いつもミスばかりする  
ダメ男のチンポなんて  
見るのも嫌だつて  
思われないか…

むわ…

むわ…



お 思うわけ…  
ないわよお…♥  
あああ…チンポ…  
見たい…欲しいいっ!

あー  
あー  
こんな下着つけてた  
なんて本当に我慢限界  
だったんですね

あー  
あー  
スーツの下 乳首も  
クリトリスも  
勃起させて

んああつ!  
そ そうよ…

あー  
あー  
メスマンコのニオイ…  
周りにばれちゃわないか  
ドキドキしてたのっ♥



でも  
見てみたい気はします

あー  
あー  
あー

一度本気で叱られたいというか…

いつもの指導的な叱責ではなく、激怒してる課長を見たいです

想像つかないんで

ちゅぽっ  
ちゅぽっ  
ちゅぽっ

ミスしてない人に激怒するなんて無理よ

ちゅぽっ  
ちゅぽっ

ちゅぽっ

う…

言っとくけど、スケベなこと言わせるとか…もうその程度のセクハラじゃ怒らないからね♪

う…

オシッコ

どうしてもって言うなら、貴方が怒らせてみてよ♥

それが「特訓」でもですか？

…ふふ、そうね

はっ  
はっ



えっと  
それじゃあ…

実は繁忙期の間  
ろくにオナニーもせずに  
ザーメンためまくって  
チンカスもべつとべとの  
まま過ごしてたんです  
よ…

へ？



決算が終わったら  
思いっきり課長の  
口の中につっこんで

思う存分チンカスを  
こそぎとって

黄ばんでどろどろの  
塊になった精液を  
排泄してやろうと  
思ってたんです

ううそ…  
いくらなんでも  
洗ってないなんて…

ぬらあ…



ほんどです

ほ

あわあ

あああ

あ...あ...



でも こんな汚い  
ものを突っ込まれる  
なんて  
文字通り  
肉便器ですし

さすがの課長も  
怒りますよね？

え...あ...  
それは

カ

カ

カ



怒らない...怒る  
ごころか...ああ...  
くさい...くさい  
ちゃん舐めたい...

突っ込まれて口の中  
めちゃくちゃに犯されて

排泄されたい...飲みたい  
...チンポ汁ほしい...っ♡

あれ この程度じゃ  
怒らないんですか

お 怒るわけないでしょ  
こんなの 全然...



だめ...だめ...だめ...  
また...また...また...  
ちよっと今年上りの  
ご見せなぐさ...



コレ…今までで一番  
ひどいセクハラよっ

確かに『怒らせてみて』って  
言ったけど あんなチンポ  
見せておいて洗うなんて…

私も忙しい間  
ずっと我慢してたの  
知ってるくせに…

すみません  
また調子に  
のりすぎました

そんなことしたら  
私だってセクハラ  
言うんだから…

ばか…

え

『男のくせに』

男のくせにチンポの  
使い方 間違えないで  
オモチャにしないで…

悲しい気持ちでチンポを  
しゃぶりたくない  
だから怒ったの…



八潮さん…僕が間違っていましたもうチンポをオモチャになんてしません

ぎゅっ

ナス君…

改めて真面目にお願いします

このチンポで八潮さんをめっちゃめちゃに犯させていただきます

…うん  
こちらこそ  
お願いします



びびり…

びびり  
びびり



少し子供っぽいところがあるけど、素直に相手と向き合える実直な人

本当に可愛いのに大人っぽい…

私なんかよりもずっと…

ん…んう…  
ああ…すこい  
ニオイ…

ん…んう…  
ん…んう…



このニオイすべてが愛しい、少しだつて逃がしたくない

この手の中、口の中、身体の中に…全部…欲しい

んっ…んちゅ…

んうう…

好きなだけ排泄して欲しいの…っ

おっぱい  
ちんぽ

じ実は…八潮さんと  
出会ってからなんです  
一日中勃起して…  
ニオイも濃くなって…

私の…せい？

もし異動で離れたら  
絶対こんなに臭く  
ならない…  
勃ちもしない  
ですっ！

私も…私も…っ

どぎゅっ！  
どぎゅっ！  
どぎゅっ！

どぎゅっ！  
どぎゅっ！  
どぎゅっ！

ぐんぐん  
ぐんぐん

ぐんぐん  
ぐんぐん

そんな心を溶かすこと  
言われたら…離れられる  
わけない…っ

美味しいの♡  
あなたのチンポの  
全てが好き♡

ぬぐゅっ！  
ぬぐゅっ！

ぬぐゅるるるっ♡

私だけの…  
くっさいチンポあ  
…っ♡

どぎゅっ！

うへっうへっ  
…!!

ガッオッ!!

どぎゅっ!!

くあ…っも  
もう我慢できない！

どぎゅっ！  
どぎゅっ！

すみませんっ  
すみませんっ！

ひ 久しぶりだから…  
腰が止まらないっ！

んごっ  
んぶうっ！

んぶうっ！

止めないで…  
やめないでっ

激しく…  
使っ…

ゴッゴッ！

ゴッゴッ！

んおっ！

ゴッゴッ！  
ゴッゴッ！  
ゴッゴッ！

ギョッ！

ギョッ！

ああ キンタマの音  
…ニオイ 感触…

気持ち…いいっ

んごっ  
おぶうっ！  
んおっ  
おほっ！

喉の奥に…あああ…  
チンポ当たってる  
ゴリゴリって…  
激しいっ！

どっどっ！

八潮さんっ  
もう…出る…

んちゆるうっ  
んううっ！

きて…溜りまくった  
チンポ袋のせーえきいいっ

喉マン…全部…  
全部っ！

んおっ！

ゴッゴッ！

ゴッゴッ！

ゴッゴッ！

ゴッゴッ！

ゴッゴッ！





んぐ…っ♡

んう♡

ゴウ…  
ゴウ…

溶ける…チンポで  
溶かされるう…

また…私…淫乱だ…  
もっ…と変態になっちゃう…

私の中に溜まっていた  
性欲の塊が  
熱い精液に  
溶かされて

んっ…んううっ♡

んくっ…  
んうっ…いっせー♡

お…お…はあ…♡

混ざり合っ…  
気化して…



ああ…身体の中…  
アタマの中…二人の  
ニオイでいっぱい…

あふれて  
きちゃったああ…♡

んく…♡

あ…ああ…  
ナスく…ん…

ほんぼ…すきい…♡  
くひゃいのらひすき…♡

んく…♡

トク…

むわ…

むわ…

八潮さん…  
イッたんですね

すごいニオイです

甘くて 濃くて  
ずっと嗅いで  
いたいような…

んちゅ…ん…♡

あ…あ…わたしも…  
ずっと…♡

さつきまでの  
激しさとは対照的な  
優しいチンポ愛撫

んっ…  
んく…ん…♡

何分もかけて口の中に  
まんべんなくチンカス  
ザーメンを塗り込んでいく

んっ…あ…あ…♡

その余韻に  
私はイキ続けたいた

ああ…やら…  
もっど…  
欲しいのお…♡

あ…あ…あ…♡



あ…大丈夫よ  
大丈夫だから…  
その…

ぎし…

腰 抜けちやい  
ましたね  
ちよつと  
休みましよう

トサッ



あ…

むわ…

むわ…

むわ…

安心して下さい  
まだ終わりじゃない  
ですから  
少し  
落ち着きましよう

す…



ぎゅむ…

ん…う…ん…

ゆっくり吸って…  
息を吐いて…  
大丈夫 落ち着く  
まで ずっとこうして  
いますから

う…ん…

ウン… 私  
こんなことされて  
本当に落ち着いてる…?

ああ…私もうこの人に  
身も心も全部 染められ  
ちゃったんだ…



でも  
でもね…



ぎゅーっ

ずっとやられっ  
ばなしは ちよこ  
悔しいから

今度は私が主導権  
いただいちゃおう  
かな♡

ナスくん...  
今度は こっちに...♡

溜まつたの  
まだいっぱいあるよね？

犯して

朝からクソ穴オナニー  
してたピッチマンコに  
キンタマのニオイ  
たっぷりしみ込ませてえ♡

フィル  
フィル...

フィル  
フィル...

トロ...

トロ...

トロ...



男なんだから...  
メスマンコのニオイ  
くらい気づいてよお♡

あは...ナスくん  
全然気づいてくれ  
ないんだもの♡

ぴぎ  
ぴぎ



あ...朝から  
してたんですか

そうよ マンコ  
だらだら濡らしながら  
出してたんだからあ♡

ぬばあ...っ



ビクッ!  
ビクッ!

ギシギシッ

ずぶずぶ

ずぶずぶ...

それスルいですよ

課長だって僕のチンポの  
ニオイに気づいてなかった  
じゃないですか

そーいう人にはすごく  
優しいセックスしか  
しませんよ

ぬちゃ

ぐちゃ

ぐちゃ

ぬちゃ

びしょびしょ

いやっ  
いやっ

あっ いや  
イヤあああっ!



ぶしぶぶ

してっ 激しく...  
ロマンコの時みたいに  
めっちゃめっちゃに犯してっ!

ぶしぶぶ

ぶしぶぶ



ギョウラッ  
ギョウラッ!!

ズッ  
ズッ

『女のくせに』...  
はしたなすぎ  
ですよ

こんな時に女  
あつかいなんて...

メスブタマンコって  
言つてえっ!

ズッ...

ズッ...



あつ あああつ!  
きた...きたあつ ♡

また泣かせるわけに  
いかないですもんね

おっと...それ  
だけはさせません

言ってくれないと...  
まだ怒る...からねっ



あああつ も...う  
コレ以外...らめえっ ♡

おなか...あああつ  
揺れて...ねじれて...  
とろけるうっ ♡

あんっ! あああつ ♡  
もっもっとしてっ!

課長のメスブタ  
マンコ 使い心地...  
最高ですよっ

ほちゅん!  
ほちゅん!  
ほちゅん!

ギシギシ



あつ! あああつ!  
ごめんね  
こんな変態上司で  
ごめんなさいっ!

でもまさか出社前に  
ケツ穴オナニーしてた  
なんて

ごめんねって...  
ウソはダメですよ課長♪



じゃあ『マンコもクソ穴も  
丸出しの下着で出社禁止』  
って言ったら  
昔みたいに戻れますか?

無理よおつ!  
もう戻れないっ!



あああつ らめ...  
引っ張ったらああつ

んひひひっ



あつ あああつ  
そ...ひひっ!

ぬるッ!  
ぬるッ!







く...ああ...  
八潮さん...  
気持ちよくて...  
ととまらないですっ

わ...  
わたと...も...  
♡

おなか...重い...  
ホントにたじぶら...  
出てくわだめ...

ガッ  
ガッ  
ガッ



結局...主導権...  
とられっぱなし...  
ホント タメね  
...私...

ああ...中出し  
ううれしい...♡

ナスくんが別の部署に  
異動したら...もう...  
耐えられないよお...♡

ズクン...

ズクン...

は...  
は...

ズクン...

ガッ...  
ガッ...



もつと中出し  
しますねッ!

あひっ...



あつ...えっ...?

ズクン...



じゃあ  
もし離れても...

寂しくならな  
くら...

ズクン...

ガッ...



溜めてた精液  
まだまだありますから  
たっぷり味わって  
くださいな



んひっ あああつ!  
チンポ...チンポ汁うっ♥  
あつ! あつ!  
全部...だしてええっ♥

私どんどん変態に  
なってるだけじゃない...

幸せすぎて...もう...変態  
じゃない頃の自分を  
思い出せなくなってる...



私...とんでもない人を...  
愛しちゃった...♥



見えますか 八潮さん

あああ 見える…  
見えてる…♥

や…  
らめえ

だめえ

チンポ…お…お尻に…  
入ってるううっ!

ガクガク!!  
ガクガク!!  
ガクガク!!

ガクガク!!  
ガクガク!!

ガクガク!!

ガクガク!!

ガクガク!!

ガクガク!!

エロいニオイ  
でしょ?

課長のお尻  
いじりまくった指

いやあ だめ  
…くさいわ…♥

あむ…  
んちゅ…♥

お…

じゃあ ココに入ってる  
チンポも もうしやぶれ  
ないですね!

やだ…やだあ!  
チンポ…くさいチンポ  
好き…♥

お…

お…

あああ…おひりの  
味…ダメえ…♥

お…  
お…

お…

お…

お…



ああ…ん…っ  
すごいっつ♡

まさかアナル  
セックスまで…  
しちやうなんてえっ!

好き♡

好き♡

イッパ! イッパ!

イッパ!!

イッパ!!

ズッパ!!

ズッパ

ダメなのに…っ そこ  
きたないの…っ♡

うんちの穴  
なの…っ♡

ズッパ!!

ズッパ

ハッパ

ハッパ

イクッ

ハッパ



それはアナタが  
イクから…精液浣腸  
するからあつ!

って言っても もう  
3回もゴロでイッてる  
じゃないですか

あ

あ

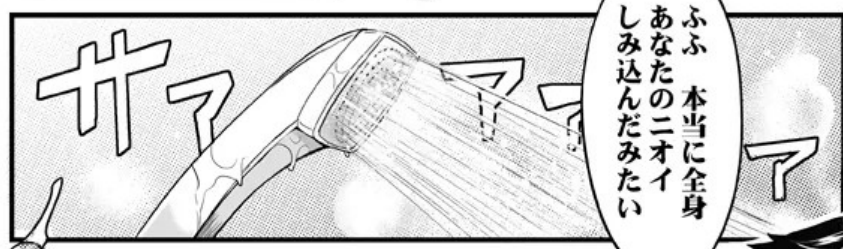
あ

Wheh♡  
Wheh♡

は

は





ふふ 本当に全身  
あなたのニオイ  
しみ込んだみたい



だめよ ますます  
離れられない



それなら異動に  
なっても大丈夫  
ですね



まだ足りませんか？

ううんニオイの  
ことじゃなくて  
もっとシンプルなこと



ふふ 理由は  
貴方が考えてみて

はい



僕と八潮さん以外、誰もいないオフィス。

つい数時間前まで、この部屋には加齢臭漂うオジサンたちが集まりダラダラと会議をしていた。

「部屋のニオイは課長の発情メスマンコのニオイでかき消されちゃいましたね」

「何言ってるのよ…。コレはあなたのくっさいチンポ汁のニオイでしょう？会社の中でザーメンまみれのショーツを着させて写真撮るなんて…あなただって本当に変態ね…♡」

八潮さんの胸に着せている下着は、連日セックスするたびに精液を染み込ませたもの。彼女は強烈な淫臭を放つそれを毎日のように嗅いで、酔って、発情する。

「下着もつけず、エロマンコにそんなテープ貼っただけで会議に参加してた八潮さんも変態ですよ。だからちゃんと写真に撮って記念に残しておかないと」

「うん…そう…ね…♡」

精液のニオイで思考が濡れているのか、反論することもなく八潮さんは股から愛液を垂らす。

「早く撮って…でないよ…もう我慢できないから。はやくチンポパンツのニオイ嗅ぎながらメスブタセックスさせて…♡」

「でも、明日も朝から会議があるんですよねこの部屋…チンポ臭くなりますよ。いいんですね？」

「ええ——もちろんよ…♡」

ああ…臭いの…もっとと嗅がせて…チンポの  
ニオイ…チンカスザーメン姿…もっとと見て  
…写真撮ってえ…♡」

秘密の変態淫臭プレイを繰り返すうちに  
八潮さんは精液パンツなしではいられない  
ほどマゾ性癖が覚醒していた。

今や深夜のオフィスをこの姿で徘徊して、  
写真を撮るところか、同僚の机の上で股を  
開いて中出しセックスをねだるほどに。

「ねえ…もつとあるでしょ？ チンカス  
べつとべつとにまぶしたショーツ…洗って  
ない汚いやつ…欲しいの…♡」

「ありますよ。慌てないで。センサー精液ぶち  
まけた八潮さんのパンツ、ちゃんと持ってきて  
ますから」

「あああ…何日分の精液なのコレ…？ 蒸れた  
キンタマのニオイもするう…はあ…はあ…  
オスのニオイ…ああ…メスマンコ墮ちちゃう  
…ダメ…こんなのダメえ…♡」

自ら頭にザーメンパンツをかぶった八潮さんは  
言葉とは裏腹に喜色をうかべ、ニオイだけで  
発情——いや、絶頂していた。

「ああ…この部屋、明日も会議があるのに  
絶対気付かれちゃう…セクハラしてくる  
オジサンたちに私のメス穴のニオイが…♡」

「ずっとバレてませんから大丈夫ですよ。  
もっと、もっと、毎日精液プレイすれば  
いつかはバレるでしょうけど…どうします？  
そろそろやめましょうか？」

「イヤあ…もっと…ああ…もっと…バレる  
まで…あなたの精液便所にして…♡」







これで...  
行こっかな ♡

トキ...♡

おわ...

おわ...

ト...

ト...

ドキ

やだ すこい  
カタログの写真より  
ずっとスケベ...

お尻の穴まで  
丸見え...♥

彼のチンポのニオイが  
しみ込んだこの部屋

私の中に眠っていた  
淫乱な血を熱く  
させていく

でも最近では決算の  
繁忙期でセックスは  
お預け状態

溜まり続ける欲求の  
はけ口を求めて  
こんな事を始めてしまった

とうとう こんななの  
着て会社に行くのね  
...私

バレたら  
どうしよう...

こんなの履いてるって  
知ったら さすかのナス  
くんもひいちゃうかな

それとも我慢できなくて  
おっきなチンポ...  
入れてくれるかな ♥

ビクッ♡  
ビクッ

は...

は...

むわ...

むわ...

むわ...

ドキ

ドキ

ドキ

は

あ

は



互いの変態性癖が  
どんだん覚醒して  
もう…止まらない

あの夜からメソメソ  
セックスを重ねて  
たった一か月でこんな  
変態になってしまった



だからこそ会社が  
終わってから



そういう実直な  
性格にもますます  
惹かれていく

むしろナスくんは  
以前よりもさらに真摯に  
仕事に取り組んでいる



でも会社では二人とも  
いつも通りに過ごしている



ぶっ  
ぶっ

あーっ!  
あーっ!

ぶっ  
ぶっ

あああ ま まだ…  
お風呂に入ってから…  
二オイだめえ…っ♥  
ずつとマンコ蒸れて  
たんだからあっ!

八潮さん…っ 八潮さんの  
エロマンコの二オイ…っ!  
汗ばんだケツ穴の  
二オイ…最高ですっ!

しゃっ!  
しゃっ!  
しゃっ!

あーっ  
あーっ

僕も会社でカウパー  
漏れまくってました

カウパー  
カウパー

ああ…チンポお…  
くさいチンポお…♡

もう限界です その  
エロマンコに入れ  
させてもらえますか

入れて…  
メスマンコに  
チンポ交尾してえ!!

八潮さん すっかり  
卑猥な言葉 好きに  
なってますね

あああん♡ 貴方が  
言わせてるんでしょ…っ

イヤがつても…ああっ♡  
特訓だつて…いつも…  
いつも…っ!

言わないと…キンタマ精液  
マンコ穴にぶちまけてイカせて  
くれないからあ…っ!

すみません イヤがる  
フリする八潮さんが  
可愛いから つい

ち…違…ああっ♡  
フリなんかじゃ…  
あひっ! いっっ!  
もつと奥まで  
チンポおおっ♡

そっ  
いつもごう  
イヤがつてみても  
いつの間にか…

カウパー!  
カウパー!

カウパー!!  
カウパー!!

休日でも



鏡にながってる  
ところ丸見えですよ

あああ  
言わないでえ…

とんでもない  
水着を着せられて



似合ってますよ  
これで泳ぎに  
いきませんか

らめ…だめえ…  
あああ…

ついにね  
こんなトキまで



今の課長  
会社の人に見せて  
自慢したいですよ

やだああ 貴方だけよ  
こんな姿見せるの♡  
ナス君に見て  
ほしいのお…♡



ホントは好き  
なんですよね？  
ど変態セックス…  
大好きですよね？



ちが…あああつ  
あああああ…♡  
わたし…は…キミが  
好きだから

あああ こんな  
コト…変態セックス  
なんてえ…♡

結局 私はイヤだと  
言い切れず  
おしる…彼に愛え  
られていくことが

心を丸裸にされて  
しまうことが

もっと♡  
もっと♡  
もっと♡



好きよっ とっくの昔から…大好きいっ♡

変態だものっ 私…変態スケベ女だからっ♡

見てっ 見てええっ♡

出社前にクソ穴オナニーしてるのっ!

全部丸出して感じるのっ♡

見えてっ 見えてっ

あゝ♡ あゝ♡ あゝ♡ あゝ♡



イクッ! イクラッ!

ああああッ!



せつせつせつ! せつせつせつ!



ああ…怖い このまま出社したら 本心に…私 どうなってしまっの…



ほお

ちんぽん

こうなり  
ました。

Rち

ちんぽん  
Rち

Rち

ちんぽん



えっ?!  
あつハート!!

あの 今日はどう  
したんですか?  
体調不良  
ですか?

八潮さ...  
課長!

八潮さん

いいえ  
特には...

ナス君  
何やったの



オイコラ  
メスインター!

今朝の変態オナーの  
せいだなって言えないけど  
そもそも原因の半分は  
ナス君なんだし  
『どうしたんですか』って  
ハナクはどうかしら

ううん 大丈夫  
ごめんなさい



目え開けたまま  
寝てんじゃねーぞ!!

どちら様...?

俺だよ!  
背戸口だよ!

顔の力が無い  
から分かん  
なかったわ

どーしたの?

お前らにボコ  
られて凹んだ  
んだよ!

あとカリって  
言うな!  
エラって言え!!

It's

セハラ  
よ!!



それはそうと退院したら  
うちの課のバカ女が異動  
してやがった!

おかげで決算時期に  
事務処理を俺がやら  
なきゃいけねえ!

キタイキタイ  
キタイキタイ  
キタイキタイ

普通 人事異動は  
決算終わって半期  
ごとにするだろ!

バカなのか!?



あーあの子ねー  
確か同じ課の人と  
今度結婚するのよね

異動はそれを考慮  
しての事って話よ

旦那になる人が上司とか  
得意先に怒られてるのを  
目にしたら

女性のほうが不安になる  
だろう っていうお偉方の  
『配慮』 っていうやつよ

バカモーク!!  
すみません  
いらほら



上の人間も叱るべき  
ところで遠慮して  
しまうこともあるし  
周囲も変に気を遣う  
かもしれないし

でもいまさら...って  
感じもするよね  
今までは堂々と叱り  
飛ばしてたわけ  
じゃん?

でも恋人と違って結婚相手  
となると...今までと違った  
物の見方になる...って  
言い分も分かるかも

そっか  
難しい判断よね



まあ理由の中には  
『結婚退職するなら別の  
部署に行つてから辞めてくれ』  
ってトコもあるかもね

上司は部下に辞められると  
管理職の査定に響くのよ





ねえ…  
ナスくん

はい

今日  
話してたこと…

私たちは直接の  
上司・部下だから  
彼らのようなケース  
じゃないけど

もし私がナスくんを  
怒ったら…一緒に仕事  
やりづらい？

いえ 全然  
実際 今まで何度も  
ミスして叱られて  
きましたし

野球部の頃も叱られて  
ばかりでしたけど  
監督や先輩は  
尊敬してましたよ

でも…こうして付き  
合ってからじゃ感じ方も  
違うんじゃないかな…って

毎日 貴方のチンポに  
おマンコ濡らしてる女に  
叱られて…嫌じゃない？

ぶぶん

ぶぶん

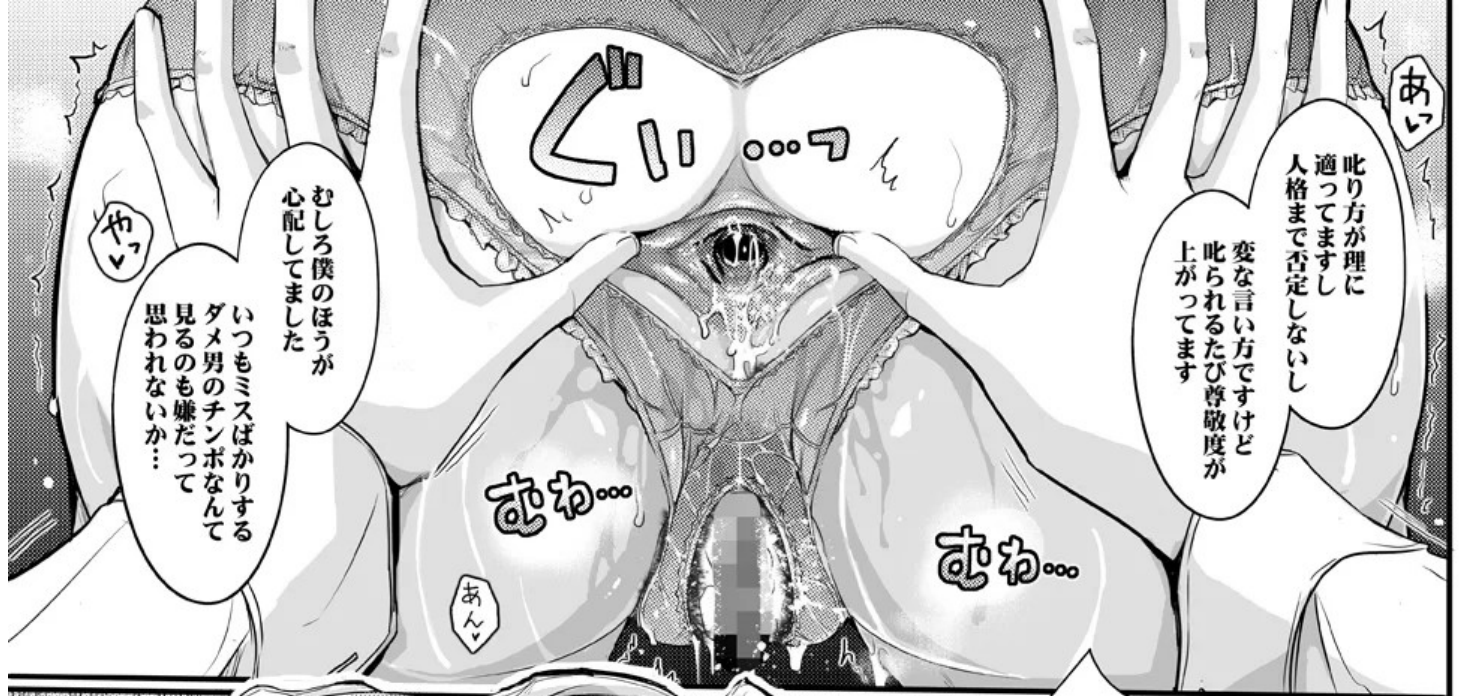
ぶぶん

ぐんぐん

ぐんぐん

あッ  
あんっ

ぐんぐん



あー  
此り方が理に  
適ってますし  
人格まで否定しないし

変な言い方ですけど  
叱られるたび尊敬度が  
上がってます

あー  
むしろ僕のほうが  
心配してました

いつもミスばかりする  
ダメ男のチンポなんて  
見るのも嫌だつて  
思われないか…

むわ…

むわ…



あー  
お 思うわけ…  
ないわよお…♥

あああ…チンポ…  
見たい…欲しいいっ!

あー  
こんな下着つけてた  
なんて本当に我慢限界  
だったんですね

あー  
スーツの下 乳首も  
クリトリスも  
勃起させて

あー  
んあつ!  
そ そうよ…

あー  
メスマンコのニオイ…  
周りにばれちゃわないか  
ドキドキしてたのっ♥



あー  
でも—  
見てみたい気はします

あー  
あーあー…



一度本気で叱られたいというか...

いつもの指導的な叱責ではなく、激怒してる課長を見たいです

想像つかないんで

ちゅん♡  
ちゅん♡  
ちゅん♡

ミスしてない人に激怒するなんて無理よ

ちゅん♡  
ちゅん♡

ちゅん♡



オッ♡

どうしてもって言うなら、貴方が怒らせてみてよ♡

言っとくけど、スケベなこと言わせるとか...  
もうその程度のセクハラじゃ怒らないからね♪

う...



それが「特訓」でもですか？



...ふふ そうね

す♡  
す♡



えっと  
それじゃあ...

実は繁忙期の間  
ろくにオナニーもせずに  
ザーメンためまくって  
チンカスもべつとべつの  
まま過ごしてたんです  
よ...

^?  
?

ドゥーン  
キーン



決算が終わったら  
思いっきり課長の  
口の中につっこんで

思う存分チンカスを  
こそぎとって

黄ばんでどろどろの  
塊になった精液を  
排泄してやろうと  
思ってたんです

ううそ...  
いくらなんでも  
洗ってないなんて...

ぬらあ...

グワッ!  
グワッ!  
グワッ!  
グワッ!



ほんとです  
ほろ

あわあ

あああ

あ...あ...



でも こんな汚い  
ものを突っ込まれる  
なんて  
文字通り  
肉便器ですし

さすがの課長も  
怒りますよね？

え...あ...  
それは

カ

あ...あ...



怒らない...怒る  
ところか...ああ...

くわい...くわい  
ちゃんほ舐めたい...

突っ込まれて口の中  
めちゃくちゃに犯されて

排泄されたい...飲みたい  
...チンポ汁ほしい...っ♡

あ

あ...

あ...



あれ この程度じゃ  
怒らないんですか

お怒るわけないでしょ  
こんなの 全然...

だめ...で欲しいがっちゃ  
またいっしょにおい  
ちみっとな年上っし  
ご見せなぐさ...

あ

あ...

あ...

あ



コレ…今までで一番  
ひどいセクハラよっ

確かに『怒らせてみて』って  
言ったけど あんなチンポ  
見せておいて洗うなんて…

私も忙しい間  
ずっと我慢してたの  
知ってるくせに…

すみません  
また調子に  
のりすぎました

ばか…  
そんなことしたら  
私だってセクハラ  
言うんだから…

え

『男のくせに』

男のくせにチンポの  
使い方間違えないで  
オモチャにしないで…

悲しい気持ちでチンポを  
しゃぶりたくない  
だから怒ったの…

おお

どす  
どす

どす

どす

どす

どす

どす



じ実は…八潮さんと  
出会ってからなんです  
一日中勃起して…  
ニオイも濃くなって…

私の…せい？

もし異動で離れたら  
絶対こんなに臭く  
ならない…  
勃ちもしない  
ですっ！

私も…私も…っ



そんな心を溶かすこと  
言われたら…離れられる  
わけない…っ

美味しいの♡  
あなたのチンポの  
全てが好き♡

ぬちゃっ! ぬちゃっ!

ぬちゃるるっ♡

私だけの…  
くっさいチンポあ  
…っ♡



くあ…っも  
もう我慢できない!

うぐうぐっ!!

グオオ!!





すみませんっ  
すみませんっ！

ひ久しぶりだから…  
腰が止まらないっ！

んごっ  
んぶうっ！

んぐううっ！

止めないで…  
やめないでっ♡

激しく…  
使ってえっ♡

あああ キンタマの音  
…ニオイ 感触…  
気持ち…いいっ♡

んごっ♡  
おぶううっ！  
んおっ♡  
おぼおっ！

喉の奥に…あああ…  
チンポ当たってる  
…  
激しいっ！

八潮さんっ  
もう…出る…っ

んちゆるうっ  
んううっ！

きて…溜りまくった  
チンポ袋のせーえきいいっ

喉マンコで…全部…  
全部っっっ♡

んおおっ！





んぐっ♡

んう♡

溶ける…チンポで  
溶かされるう…

また…私…淫乱に…  
もっと変態になっちゃう…

私の中に溜まっていた  
性欲の塊が  
熱い精液に  
溶かされて

んっ…んうっ♡

混ざり合っていて…  
気化して…

お…お…はあ…♡

んくっ…  
んうっ…♡



ああ…身体の中…  
アタマの中…二人の  
ニオイでいっぱい…

あふれて  
きちゃったああ…♡

んく…♡

あ…ああ…  
ナスく…ん…

とんぼ…すきい…♡  
くひゃいのらいすき…♡

んく…♡

トク…♡

むわ…

むわ…

八潮さん…  
イッたんですね

すごいニオイです

甘くて 濃くて  
ずっと嗅いで  
いたいような…

んぢゅ…ん…♡

あ…あ…わたにき…  
ずっと…♡

さっきまでの  
激しさとは対照的な  
優しいチンポ愛撫

んっ…  
んく…ん…♡

何分もかけて口の中に  
まんべんなくチンカス  
ザーメンを塗り込んでいく

んぢゅ…あ…♡

その余韻に  
私はイキ続けていた

ああ…やら…  
もっ…  
欲しいのお…♡

あ…あ…♡



あ…大丈夫よ  
大丈夫だから…  
その…

ぎし…

腰 抜けちやい  
ましたね  
ちよっと  
休みましょう

トサッ



あ…  
びわ…  
びわ…

安心して下さい  
まだ終わりじゃない  
ですから  
少し  
落ち着きましょう

す…



ん…  
あ…私もうこの人に  
身も心も全部 染められ  
ちゃったんだ…

ウソ…私  
こんなことされて  
本当に落ち着いてる…?

ん…  
ん…

ぎゅむ…

ん…う…ん…  
ゆっくり吸って…  
息を吐いて…  
大丈夫 落ち着く  
まで すっとうして  
いますから  
う…ん…



でも  
でもね…



ぎょじー

ずっとやられっ  
ぱなしは ちよこ  
悔しいから

今度は私が主導権  
いただいちやおつ  
かな♡

ナスくん…  
今度は こつちこ…♡

溜まつたの  
まだいっぱいあるよね？

犯して

朝からクソ穴オナニー  
してたピッチマンコに  
キンタマのニオイ  
たっぷりしみ込ませてえ♡

フィル  
フィル…

フィル  
フィル…

トロ…

トロ…

トロ…



あは…ナスくん  
全然気づいてくれ  
ないんだもの♡

男なんだから…  
メスマンコのニオイ  
くらい気づいてよお♡

は  
ドキドキ



あ…朝から  
してたんですか

そうよ マンコ  
だらだら濡らしながら  
出社してたんだからあ♡

ぬばあ…



それスルいですよ  
課長だって僕のチンポの  
ニオイに気づいてなかった  
じゃないですか

そーいう人にはすごく  
優しいセックスしか  
しませんよ

ビクッ!  
ビクッ!

ギシギシッ

ずぶ

ずぶずぶ...

あっ いや  
イヤあああっ!

ぬちゃ  
ぬちゃ  
ぬちゃ

ズレッ  
ズレッ



してっ 激しく...  
ロマンコの時みたいだ  
めっちゃめっちゃに犯してっ!

ズレッ

ふんふん

ふんふん



『女のくせに』...  
はしたなすぎ  
ですよ

こんな時に女  
あつかいなんて...  
メスブタマンコって  
言つてえっ!

ギョウラッ  
ギョウラッ!!

ズレッ  
ズレッ

ズレッ



ガッガッ

言ってくれないと…  
また怒る…からねっ

おっと…それ  
だけはさせません

また泣かせるわけに  
いかないですもんね

あつ あああつ!  
きた…きたああつ ♡

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

アッ!  
アッ!  
アッ!

ガッガッ



課長のメスブタ  
マンコ 使い心地…  
最高ですよっ

あんつ! あああつ ♡  
もつと もつとしてっ!

おなか…あああつ  
揺れて…ねじれて…  
とろけるうっ ♡

あああつ も…う  
コレ以外…らめえっ ♡

ゴッゴッ  
ゴッゴッ!

ほちゃっ!

ほちゃっ!

ほちゃっ!

ギシッギシッ

あつ

あつ

あつ

あつ

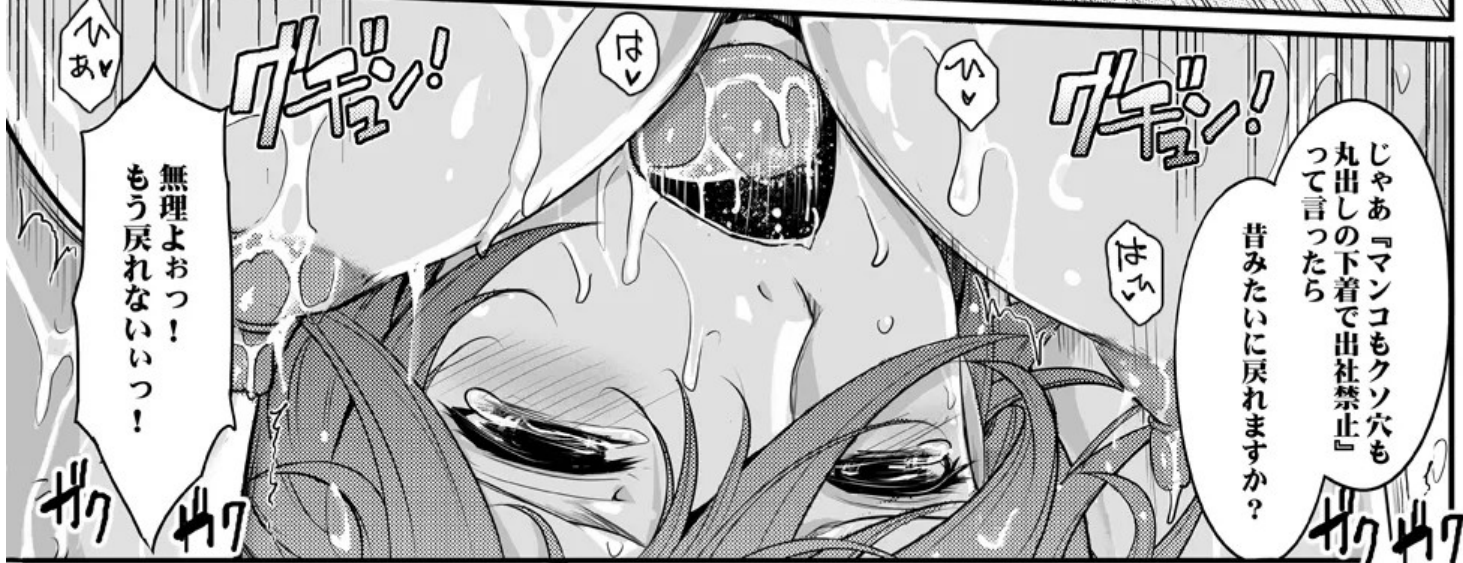


でもまさか出社前にケツ穴オナニーしてたなんて

あつ！ あああつ！  
ごめんね  
こんな変態上司で  
ごめんなさいっ！

ごめんねって…  
ウソはダメですよ課長♪

グググッ!



じゃあ『マンコもクソ穴も丸出しの下着で出社禁止』  
って言ったら  
昔みたいに戻れますか？

無理よおつ！  
もう戻れないっ！



あつ あああつ  
そこ…いいっ！

あああつ ちめ…  
引っ張ったらああっ

んひいっ ♡





プウウッ

ドッ

ドホッ!  
ドホッ!

ドホッ!

ああ  
ああ  
アッ  
ッ

ビクン!  
ビクン!  
ビクン!

ガクガク

ガクガク

イクイク

グッ

グッ

イク...イクの...  
とまらないらっ!

あああっ♡

ひっ♡



く...ああ...  
八潮さん...  
気持ちよくて...  
ととまらなそうですっ

わわ...  
わたし...も...♡

おなか...重い...  
ホントにたじぶじ...  
出てくわなあ...

わわわ  
わわわ  
わわわ



結局...主導権...  
とられつばなし...  
ホント...  
...私...  
タメね

ああ...中出し  
ううれしい...♡

ナスくんが別の部署に  
異動したら...もう...  
耐えられないよお...♡

ぐわ...♡

ぐわ...♡

は〜

は〜

は〜

ぐわ...♡

ぐわ...♡

ぐわ...♡



もつと中出し  
しますねッ!

あひっ...!



じゃあ  
もし離れても...

寂しくならな  
くない

あつ...えつ...?

ぬるぬる

ぐわ

ぐわ

ぐわ

ぐわ



溜めてた精液  
まだまだありますから  
たっぷり味わって  
くださいな



んひっ あああつ!  
チンポ…チンポ汁うっ♡  
あつ! あつ!  
全部…だヒてええっ♡

私とどん変態に  
なってるだけじゃない…

幸せすぎて…もう…変態  
じゃない頃の自分を  
思い出せなくなってる…っ



私…とんでもない人を…  
愛しちゃった…♡



見えますか 八潮さん

あああ 見える…  
見えてる…♥

や…  
らめえ

ためいっ

チンポ…お…お尻に…  
入ってるううっ!

ガクッ!  
ガクッ!  
ガクッ!

ガクッ!  
ガクッ!

ガクッ!  
ガクッ!

ガクッ!  
ガクッ!

ガクッ!

ガクッ!

ガクッ!

エロいニオイ  
でしょ?

課長のお尻  
いじりまくった指

いやあ だめ  
…くさいわ…♥  
あむ…  
んちゅ…っ♥

社…

やだ…やだあ!  
チンポ…くさいチンポ  
好き…っ♥

じゃあ ココに入ってる  
チンポも もうしゃぶれ  
ないですね♪

たっ

たっ

あああ…おひりの  
味…ダメえ…♥

ガクッ!  
ガクッ!

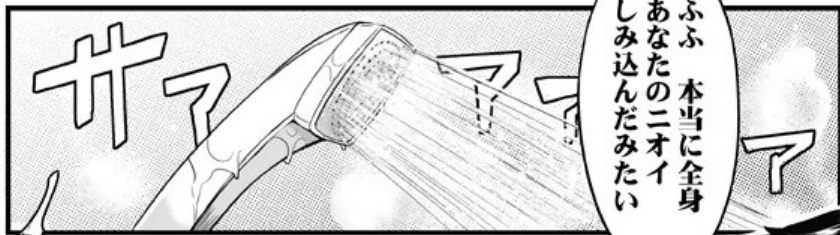
ガクッ!

ガクッ!

ガクッ!







ふふ 本当に全身  
あなたのニオイ  
しみ込んだみたい



だめよ ますます  
離れられない



それなら異動に  
なっても大丈夫  
ですね



まだ足りませんか?  
♡♡♡  
♡♡♡



ふふ 理由は  
貴方が考えてみて



言えないわよ  
もし貴方が傍にいて  
くれなかつたら

会社のトイレで排泄  
したメスブタくさい  
ニオイでイっちゃう姿

ん

もわ...  
もわ...

貴方に見て  
もひえなうわ...  
見...  
見...

もわ...

なーんて...  
ね♡



ぽへ...  
アンタ異動どころか  
クビになるわよ

翌日

仕事しろ。

僕と八潮さん以外、誰もいないオフィス。

つい数時間前まで、この部屋には加齢臭漂うオジサンたちが集まりダラダラと会議をしていた。

「部屋のニオイは課長の発情メスマンコのニオイでかき消されちゃいましたね」

「何言ってるのよ…。コレはあなたのくっさいチンポ汁のニオイでしょう？会社の中でザーメンまみれのシヨーツを着させて写真撮るなんて…あなただって本当に変態ね…♡」

八潮さんの胸に着せている下着は、連日セックスするたびに精液を染み込ませたもの。彼女は強烈な淫臭を放つそれを毎日のように嗅いで、酔って、発情する。

「下着もつけず、エロマンコにそんなテープ貼っただけで会議に参加してた八潮さんも変態ですよ。だからちゃんと写真に撮って記念に残しておかないと」

「うん…そう…ね…♡」

精液のニオイで思考が濡れているのか、反論することもなく八潮さんは股から愛液を垂らす。

「早く撮って…でないよ…もう我慢できないから。はやくチンポパンツのニオイ嗅ぎながらメスブタセックスさせて…♡」

「でも、明日も朝から会議があるんですよ。この部屋…チンポ臭くなりますよ。いいんですね？」

「ええ——もちろんよ…♡」

ああ…臭いの…もっとと嗅がせて…チンポの  
ニオイ…チンカスザーメン姿…もっとと見て  
…写真撮ってえ…♡」

秘密の変態淫臭プレイを繰り返すうちに  
八潮さんは精液パンツなしではいられない  
ほどマゾ性癖が覚醒していた。

今や深夜のオフィスをこの姿で徘徊して、  
写真を撮るところか、同僚の机の上で股を  
開いて中出しセックスをねだるほどに。

「ねえ…もつとあるでしょ？ チンカス  
べつとべとにまぶしたシヨーツ…洗って  
ない汚いやつ…欲しいの…♡」

「ありますよ。慌てないで。センサー精液ぶち  
まけた八潮さんのパンツ、ちゃんと持ってきて  
ますから」

「あああ…何日分の精液なのコレ…？ 蒸れた  
キンタマのニオイもするう…はあ…はあ…  
オスのニオイ…ああ…メスマンコ墮ちちゃう  
…ダメ…こんなのダメえ…♡」

自ら頭にザーメンパンツをかぶった八潮さんは  
言葉とは裏腹に喜色をうかべ、ニオイだけで  
発情——いや、絶頂していた。

「ああ…この部屋、明日も会議があるのに  
絶対気付かれちゃう…セクハラしてくる  
オジサンたちに私のメス穴のニオイが…♡」

「ずっとバレてませんから大丈夫ですよ。  
もっと、もっと、毎日精液プレイすれば  
いつかはバレるでしょうけど…どうします？  
そろそろやめましょうか？」

「イヤあ…もっと…ああ…もっと…バレる  
まで…あなたの精液便所にして…♡」



